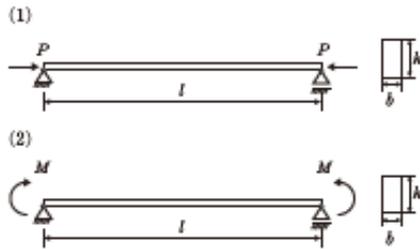


予習 授業の前にやっておこう!

1. 断面形状に関する定数の復習をしておこう。長方形断面を例に、次の諸量の計算方法を復習しておこう。 Web-Link 
予習の解答
- ・断面2次モーメント(強軸と弱軸)
 - ・断面係数
 - ・断面2次半径
2. 次の荷重が作用している部材がある。部材の断面に作用している応力と断面の応力分布図を計算せよ。弾性係数を E 、断面2次モーメントを I として計算せよ。



予習 1

図のような長方形断面で考える。

断面積 : $A = b \cdot h$

[強軸 (x-x 軸)]

断面2次モーメント : $I_x = \frac{bh^3}{12}$

断面係数 : $Z_x = \frac{I_x}{\frac{h}{2}} = \frac{bh^3}{12} \cdot \frac{2}{h} = \frac{bh^2}{6}$

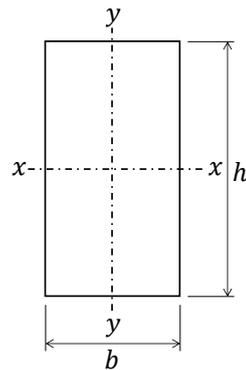
断面2次半径 : $r_x = \sqrt{\frac{I_x}{A}} = \sqrt{\frac{bh^3}{12} \cdot \frac{1}{bh}} = \sqrt{\frac{h^2}{12}} = \frac{h}{2\sqrt{3}} = \frac{h\sqrt{3}}{6}$

[弱軸 (y-y 軸)]

断面2次モーメント : $I_y = \frac{hb^3}{12}$

断面係数 : $Z_y = \frac{I_y}{\frac{b}{2}} = \frac{hb^3}{12} \cdot \frac{2}{b} = \frac{hb^2}{6}$

断面2次半径 : $r_y = \sqrt{\frac{I_y}{A}} = \sqrt{\frac{hb^3}{12} \cdot \frac{1}{bh}} = \sqrt{\frac{b^2}{12}} = \frac{b}{2\sqrt{3}} = \frac{b\sqrt{3}}{6}$



2 (1)

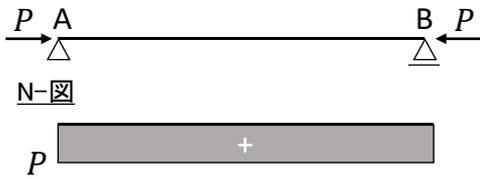


図 軸力図

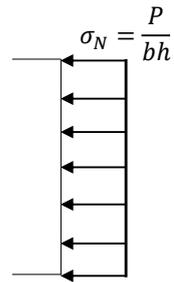


図 応力分布図

単純ばりに圧縮の軸力のみが作用している状態となるため、N-図は上図のようになる。従って、作用している応力は軸方向の圧縮応力となり、応力分布図は、上図のようになる。

$$\sigma_N = \frac{P}{A} = \frac{P}{bh}$$

(2)

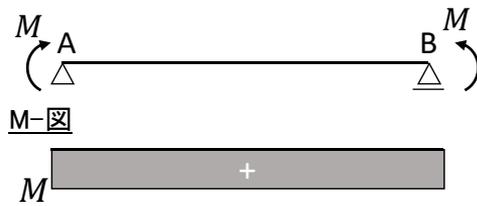


図 曲げモーメント図

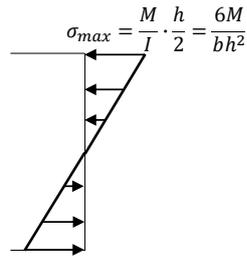


図 応力分布図

単純ばりの両端に曲げモーメント \$M\$ のみが作用している状態となるため、M-図は上図のようになる。従って、作用している応力は次のように計算でき、応力分布図は上図のようになる。

$$\sigma_N = \frac{M}{I} \cdot \frac{h}{2} = M \frac{12}{bh^3} \frac{h}{2} = \frac{6M}{bh^2}$$